

# 学 ぶことを諦めない。

## 広島大学 法学部・夜間主コース

ごあいさつ

「新たな時代に新たな扉を開こう」

吉中 信人 広島大学法学部夜間主コース主任

広島大学法学部夜間主コースは、その起源を、1950年に併設された政経学部第二部に遡り、既に70年以上の歴史を刻み、以来、東千田の地で、勤労学生にも勉学の場を提供してきました。最近では、昼の時間にアルバイトにはげむ学生も多く在籍しています。現在、1学年30人余りの少数精鋭型コースで、入学者は「法政総合プログラム」というカリキュラムを履修することになっています。小規模ながら、4学年では100人以上の組織ですし、教育内容や学生生活の充実度は、昼間コースに比べても勝るとも劣りません。「山椒は小粒でもピリリと辛い」のです。そのわけを、いくつか指摘してみましょう。

まず、法政総合プログラムの教育内容は、昼間コースの「公共政策プログラム」と「ビジネス法務プログラム」の内容を土台に、より夜間主コース学生の実情に沿うよう構成されているほか、昼間授業時間帯に行われる授業も、一定限度で履修することができるようになっています。このことは逆に昼間コースにはない魅力となっています。そもそも昼間帯と同じ教員が担当する授業がほとんどであり、教育の質保証という点でまったく遜色がありません。さらに東千田キャンパスには放送大学広島学習センターがあって、ここで科目履修生として取得された単位も一定の範囲で認められるのです。

次に、経済的な魅力です。上記のようなメリットにもかかわらず、学費は昼間コースのほぼ半額であるほか、昼間の時間を通常の仕事やアルバイト等に充てることができるので、自活して生活しようという学生さんにはぴったりの学習環境と言えます。昼間に働いて夜間時間帯に勉強することは体力的にハードなものであることは事実ですが、その分生活の充実度は計り知れません。スポーツが好きな方、運動不足の方は、授業が終わってからのサークル活動で汗を流すのもお勧めです。

さらに、私は、交友関係の幅広さを挙げることができると 생각합니다。10代、20代の仲間が多い昼間コースに比べ、夜間主では、30代から70代まで、実に幅の広い年代層の学生さんがおられ、若い世代は年配の学生さんから様々な経験値を肌で感じることができ、年配の学生さんは若い世代からエネルギーや清かな発想力を吸収できます。こうして、相互にとって異次元の化学反応が発生するのです。特に、2年生の後期から加入できる、少人数の討論形式で学ぶ演習(いわゆるゼミ)などに参加すると、そうした人生経験豊かな先輩や、様々な仕事をこなしている有職者との交流によって、単に教科書から学ぶ以上の、いわゆる「腑に落ちる」学習効果も期待できます。私の刑事法のゼミでも、かつて、裁判所書記官、検察事務官、弁護士事務所職員、刑務官の人達が一堂に会したことがあり、さながら生きた法廷ドラマのようで、私自身も大変楽しんでゼミを行うことができました。

2023年度4月からは、「法曹養成を核とした拠点形成」として、東広島の昼間コースや大学院も東千田キャンパスに合流しました。これにより、法学部もいっそう集約性と拠点性を高め、また、昼間コースと夜間主コースの相互交流もさらに盛んになりました。そして、法学部を卒業後も、同じキャンパスで、法科大学院(実務法学プログラム)、研究大学院(法学・政治学プログラム)に進学して勉強を継続することも可能です。知的好奇心を持つ限り、人間は何歳になっても勉強し、成長し続けることができます。

最後に、広島市には、地方裁判所や家庭裁判所があるほか、全国で8つの高等裁判所所在地の一つでもあり、裁判傍聴などの利便性も抜群です。新たな時代に新たな扉を開けて、わたしたちと一緒に、ワクワクするような知的冒険の旅に出ませんか。意欲溢れる皆さんの入学を期待しています。



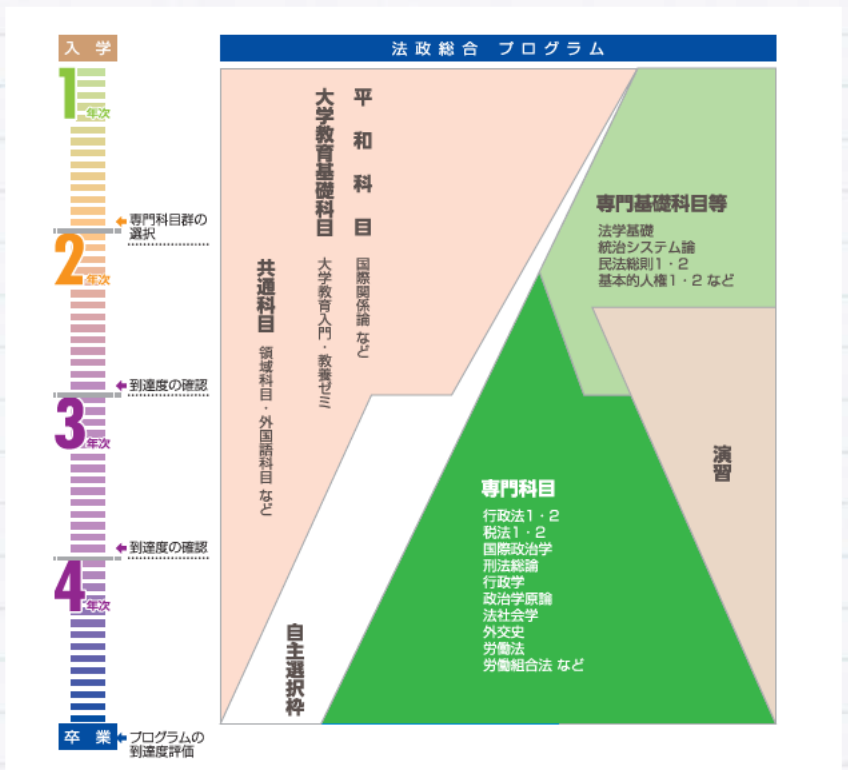
# 4年間のカリキュラム

## 「法律」を応用して様々な分野で活躍できる人材を育成するカリキュラム。

広島大学法学部の夜間主コースは、健全な社会的関心と一定の法的素養を備えた人材を社会に送り出すため多様な分野で応用できる基礎力を養成するとともに、グローバルな現代社会で行政過程や企業活動が抱える諸問題を法的視点から体系的に理解し、解決策を提案するために必要な能力や技能を修得することをめざします。

法政総合プログラムでは、1年次には導入科目により科目群の意味を理解し(導入)、2年次には基礎的な専門科目で土台となる基礎知識を定着させ(基礎)、3-4年次には専門科目と専門演習で応用力と実践力を総合的に身につける(応用・総合)というプロセスで、積み上げ型の学習を展開します。また、法学的素養に基づき現代社会の諸問題に総合的にアプローチする、実務能力において優れた人材を育成するために、次のような能力の獲得を到達目標としています。

- ① 幅広い視野から社会問題を発見する力の獲得
- ② 法制度の体系的理解に基づき、法・政治過程や企業活動の問題点を分析する力の獲得
- ③ 論理的思考の下で具体的解決を提案する力の獲得



## ■夜間主コースにおける授業履修の方法

入学後、夜間主コースの学生は法政総合プログラムを専攻し、主として夜間授業時間帯(18時~21時10分)に、東千田キャンパスで授業を受けることになります。それ以外にも、昼間授業時間帯に行われる授業を、一定限度履修することができます。法学部昼間コースの授業も東千田キャンパスで実施されます。

さらに、東広島や霞キャンパスまで通学して、そこで行われている昼間授業時間帯の授業を受講することもできます。

このように、昼間の授業と夜間の授業の両方を履修することができるのが夜間主コースなのです。

(授業科目一部抜粋例)

昼間授業時間帯		夜間授業時間帯	
7・8時限	9・10時限	1・2時限	3・4時限
14:35~16:05	16:20~17:50	18:00~19:30	19:40~21:10
	<ul style="list-style-type: none"> <li>●法学基礎</li> <li>●少年法特講</li> <li>●民事執行・保全法</li> <li>●倒産処理論</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●基本的人権1</li> <li>●民法総則2</li> <li>○日本国憲法</li> <li>●税法1</li> <li>○大学教育入門</li> <li>○平和科目</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>●刑法総論</li> <li>●演習</li> <li>●統治システム論</li> <li>●民法総則1</li> <li>○教養ゼミ</li> <li>○コミュニケーション英語</li> </ul>

- 教養教育科目
- 専門教育科目
- ・基本的には夜間授業時間帯の授業科目を履修する。
- ・昼間授業時間帯に開講されている授業科目は40単位まで卒業要件単位に算入できる。

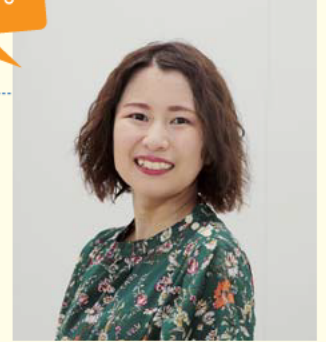


# 在校生からのメッセージ

## 畑中 遥(3年生)

毎日クタクタになるけれど、前より何倍も充実した日々です。

私が夜間主コースのことを初めて知ったのは、広島大学の公開講座に参加した時で、もう10年以上前のことになります。当時は、参考程度にサッと流していた情報でした。しかし2年前。コロナ禍のせいもあり、職場の環境や賃金がどんどん悪化していくのに悩んでいた私は、労働問題について相談できる場所を探していました。その時、目に留まったのが法科大学院のリーガル・サービス・センターです。最初は法律相談について調べていましたが、ふと公開講座の記憶が脳裏によぎり…。しだいに、夜間主コースへと検索対象が変わっていきました。「ここに行けば今の状況変わるかも」「法律系の資格を取得して、転職するのもありじゃない?」と受験を決意。幸い合格し、今に至ります。まさかこんな御縁があるなんて…。コロナがなければ、おそらく私はこの場になかったと思います。正直に言います。入学後は目が回るくらい忙しいです。課題の量は想像以上、授業の難易度はもちろん高い。「脳内キャパオーバー」って、まさにこういう状態だなあと実感しました。欲張りな時間割を作ってしまう、心身ともに余裕がなくなった1年次。その反省から、ゆっくりマイペースに勉強が出来るようにしたいと、現在は長期の履修計画を立て、5年生での卒業を目指しています。「無理をしないこと」が、続けられるコツかもしれません。疲れてクタクタになって、勉強にしんどさを感じる時もあるけれど、それ以上に毎日が楽しい! 普通に仕事して帰宅していた時代より、何倍も充実しています。新しい知識を得られることはもちろんですが、新しい友人との繋がりが出来ることも楽しみのひとつです。それに学食!! 安くて美味しい!! 夕飯の準備が面倒な時の強い味方です。ぜひ、入学を検討してみてください。



1学年30人程の少人数制。  
学生同士でしっかり  
コミュニケーションが取れる!

## 平良 莉子(2年生)

夜間主コースの特徴である「昼に授業が無い」という点は、とても魅力的なものだと思います。昼の時間をアルバイトや資格勉強などに活かすことができ、社会

人の学生との交流も生まれます。幅広い年代の方と共に学びながら自己研鑽を積めるというのは、夜間主コースならではのメリットです。また、夜間主コースの学費は、昼間コースと比べて半額であるため、これまで経済的な理由で大学進学を難しいと考えていた方にとって魅力的な点だと思います。夜間主コースは1学年30人程と少人数であり、その多くが県内から進学した学生です。私は県外から進学したということもあり、初めは馴染むことが出来るかどうか不安でした。けれども、少人数制であるため学部内のほとんどの学生とコミュニケーションをとる機会が頻繁にあり、気の合う友人を見つけることもできました。また、経験豊富な社会人の学生とも関わる機会も多く、幅広い年代と交友関係を構築することの楽しさに気がきました。多くの方に学びや成長の場を提供する、夜間主コースを是非検討してみてください。



昼間コースの授業も受けられ、  
キャンパスライフもより充実!  
就職へのフォローも万全です!

## 井上 歩(2年生)

法学部夜間主コースの最大のメリットは、昼間コースの半分の学費であることに加え、昼間コースの授業も受けられる点にあると思います。今年度より昼間コースのキャンパスが東千田に移転し、



それにより昼間コースに開催される対面授業を簡単に受けられるようになりました。夜間主コースに開かれる授業と組み合わせることで、沢山のことを、より効率的に学ぶことができます。また、日中の時間を、前述した昼間コースの授業の受講、アルバイトや資格勉強といったことに充てることもでき、私自身、日中は昼間コースの授業を受けつつ、空いた時間に免許の取得やアルバイトをしたりと、とても充実した日々を送っております。

就職に関しまして、法学部といえども法界に進む人は少なく、寧ろ公務員を志望する方が多いように思います。現役で公務員として働いている方もおり、公務員の仕事や実情といった話を実際に聞くことも可能です。また大学からの公務員や法曹のセミナー等のお知らせも充実しており、そこから情報を仕入れることもできます。

夜間主コースであっても、昼間コースの学生と何ら遜色ない大学生活を、自分の頑張りによっては、より充実した生活を送ることが出来ます。ここでしか得られないものも沢山ある、そんな広島大学法学部夜間主コースにあなたも入学してみませんか?

## 両立に不安がある方へ

夜間主コースには、社会人や昼間の時間にアルバイトにはげむ学生が多く在籍しています。中には、毎日18時からの授業時間に大学に来ることが出来る方ばかりではありません。その場合は、19時40分からの第2時限の授業を重点的に履修したり、無理に4年間で卒業しようとせずに長期計画を立てて卒業をめざしたり、また特に仕事等が忙しい場合は半年または1年大学を休学したり、といったさまざまな選択肢があります。

職業や家庭をもちながら勉学することは決して楽なことではありませんが、多くの方が努力して時間を捻出し、立派に卒業されていることも確かです。



BIBLA Senda





# 卒業生からのメッセージ



**「しっかり目的意識を持ち、様々なことに挑戦していくこと」を大切にしてください。**

**佐々木 俊祐 (卒業生)**

私が入学を決めたきっかけは、政治や法律に興味があり、学費を自分で払うことができる国立大学に行くことが大きな要因です。兵庫姫路市の出身で、友達もおらず1人暮らしも初めてなので、期待ばかりではありませんでした。しかし、入学後すぐ、オリエンテーションキャンプがあり、友だちづくりの場、先輩や教員との交流の場が用意されているため、そのような不安も払拭することができ、楽しい大学生活を送ることができたと思います。

在学時の思い出で、1番印象に残っているのは、国会議員のインターンシップに参加したことです。受講していた「政治の世界」の授業内で紹介があり、最初は興味があるという程度の意識でしたが、友達の強い後押しや後悔したくないという感覚を大事にし、最終的には2か月間、ほぼ毎日インターンシップに参加するくらいのもりこんだのを覚えています。

インターンでの出会いや経験を契機とし、「しっかり目的意識を持ち様々なことに挑戦していくこと」を大切にしようと思ったのを覚えています。その結果として、高校時代から感じていた、「日本の教育を変えていきたい」という原点を思い出し、インターンで知り合った方の教育活動にも、インターン後も関わり続け、就職先としても教育業界を選びました。インターンに行くという些細な選択が、私の人生において大きな影響を与え続けてくれています。

今勉強している高校生は、なぜその大学・学部に入りたいのか、どう生きたいのか、将来に向けた希望や課題に目を向け、受験というステージを成長するための過程だと割り切ることで、ニヤッと苦しみながら頑張ってください。

【人生出会うべき人には必ず出会う。しかも一瞬遅すぎず、早すぎず。】私が大事にしている座右の銘です。広島大学で過ごす中で、様々な人に出会うと思いますが、その中には、人生を大きく変化させる出会いもあるはず。生じる縁を大切に、失敗を恐れず、積極的に挑戦する意識をもって、大学ライフを満喫してください。

## 卒業後の進路(令和4年度実績)

現職のキャリアアップのための就学など就職を希望しない在校生も若干名いますが、在校生の多くは卒業後の就職(新卒での就職、転職、公務員試験合格)や進学を目指しています。新卒者に関しては3年次に就職活動を始め、人によって差はありますが、4年次の半ばまで就職活動を続けることが一般的です。社会人は新卒者とは別のカテゴリーになり、個別に企業その他に申し込みをして就職活動を行うこととなります。

卒業者	32名	進学者	4名
就職希望者	21名	資格試験準備	4名
就職決定者	17名	その他	1名
就職未定者(公)	2名	就職未定者: (公)は公務員希望者、(企)は一般企業希望者	
就職未定者(企)	2名	その他: 就職を希望しない者等	
就職率	81%		

地方公務員	呉市役所、福岡県警察
国家公務員	国税庁広島国税局
サービス業	株式会社 テクノプロ テクノプロ・IT社
金融・保険業	宮崎第一信用金庫
製造業	富士電機株式会社、オカダアイオン株式会社
卸売・小売業	株式会社 ヒラタ
情報通信業	株式会社 日立ソリューションズ西日本
建設業	セキスイハイム中四国株式会社、戸田建設株式会社
その他	司法書士りくち合同事務所、株式会社レイスグループ、東急レクリエーション、福山通運株式会社
進学	広島大学人間社会科学部実務法学プログラム、愛知大学法科大学院、名古屋大学大学院法学研究科

## 入試情報

